

外国語活動・外国語（英語）

1 外国語教育における課題

- 小学校段階で外国語に触れたり、体験したりする機会を提供することにより、中・高等学校においてコミュニケーション能力を育成するための素地をつくることが重要。
- 単に受信した外国語を理解することにとどまらず、コミュニケーションの中で自らの考えなどを相手に伝えるための「発信力」。
- コミュニケーションの中で基本的な語彙や文構造を活用する力。
- 内容的にまとまりのある一貫した文章を書く力。
- 4技能の指導において偏りがみられる（高等学校）。

2 これからの外国語教育について

- 小学校段階における外国語活動により、英語の音声や基本的な表現に慣れ親しみ、言語や文化に対する理解を深めるとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成し、中学校との円滑な接続を図る。
- 「聞くこと」や「読むこと」を通じて得た知識等について、自らの体験や考えなどと結び付けながら活用し、「話すこと」や「書くこと」を通じて発信することが可能となるよう、中学校・高等学校を通じて、4技能を総合的に育成する指導を充実する指導を充実する。
- 「聞くこと」、「話すこと」、「読むこと」及び「書くこと」の4技能の総合的な指導を通して、これらの4技能を統合的に活用できるコミュニケーション能力を育成するとともに、その基礎となる文法をコミュニケーションを支えるものとしてとらえ、文法指導を言語活動と一体的に行うよう改善を図る。
- 中学校における「聞くこと」、「話すこと」という音声面での指導については、小学校段階での外国語活動を通じて、音声面を中心としたコミュニケーションに対する積極的な態度等の一定の素地が育成されることを踏まえ、指導内容の改善を図る。

3 学習指導要領の改善について

小学校

- ・ 外国語活動として、第5・6学年において、それぞれ年間35単位時間の授業時数を確保した。英語を取り扱うことを原則とした。
- ・ 外国語活動の目標をコミュニケーション能力の素地を養うこととし、中学校との連携を図った。
- ・ 外国語を用いて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成に重点をおいた。
- ・ 外国語活動の目標については、学年ごとに示すのではなく、より弾力的な指導ができるよう、2学年間を通した目標とした。
- ・ 外国語を用いて積極的にコミュニケーションを図るための内容と、日本と外国の言語や文化について、体験的に理解を深めるための内容との二つとした。
- ・ 目標にある「外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませ」ることは、日本と外国の言語や文化について、体験的に理解を深めさせる内容の中を含めた。

中学校

- ・ 「聞くこと」、「話すこと」、「読むこと」及び「書くこと」を総合的に行う学習活動を充実させる。
- ・ 外国語で発信しうる内容の充実を図る観点から、教材の題材の例として、我が国の伝統文化と自然科学を追加する。
- ・ 文法をコミュニケーションを支えるものとしてとらえ、文法指導を言語活動と一体的に行うこと。
- ・ 指導すべき語数の充実（1,200語程度に増加）。
- ・ 小学校段階での外国語活動を通じて、コミュニケーションに対する積極的な態度等の一定の素地が育成されることを踏まえた指導内容の改善（各学年年間140時間に増加）。

高等学校

- ・ 現行の選択必修履修から「コミュニケーション英語Ⅰ」の共通履修に変更。
- ・ 科目構成を変更し、4技能の統合的かつ総合的な育成を図るコミュニケーション科目、論理的に表現する能力の向上を図る表現科目、会話する能力の向上を図る「英語会話」に再編。
- ・ 指導する語数を充実するため、コミュニケーション英語Ⅰ、Ⅱ及びⅢを履修する場合には、高等学校で1,800語、中高で3,000語を指導。
- ・ 生徒が、英語に触れる機会を充実するとともに、授業を実際のコミュニケーションの場面とするため、授業は英語で行うことを基本とすることを明記。

4 外国語科における言語活動の充実

「聞くこと」、「話すこと」、「読むこと」及び「書くこと」の4技能の総合的な指導を通して、これらの4技能を統合的に活用できるコミュニケーション能力を育成するとともに、その基礎となる文法をコミュニケーションを支えるものとしてとらえ、文法指導を言語活動と一体的に行うよう改善を図る。また、コミュニケーションを内容的に充実したものとすることができるよう、指導すべき語数を充実する。

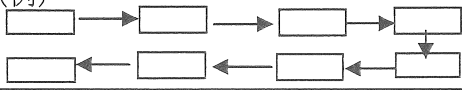
5 思考力・判断力・表現力等の育成のための授業実践例

【小学校外国語活動 第5学年】

本時の目標 — 教科名や曜日を扱ったゲームを積極的に楽しむ。(本時は単元の2時間目)				
学習活動	学級担任(HRT)	ALT	指導上の留意事項	評価規準 (評価方法)
1 あいさつ HRT: Good morning. ALT・児童: Good morning. HRT: How are you? ALT・児童: I'm...,thank you. And you? HRT: How is the weather today? What day is it today? 児童: It's (weather). It's (day).			・英語で元気よく挨拶を交わすことにより、児童に授業の始まりを意識させるようにする。	
2 【Let's Sing】 ♪ Sunday Monday, Tuesday ♪を歌おう			・いつも Sunday からではなく他の曜日から歌い始めるなど様々な歌い方を工夫する。	
3 今日のめあての確認 教科名や曜日の言い方に慣れよう。	・「今日のめあて」を児童に提示する			
4 【キー・ワード・ゲーム】 ○ペアになり、教科名を使ってキー・ワード・ゲームをする。	・キー・ワード・ゲームをすることを告げ、やり方をデモンストレーションで示す。 ①ペアになり机をはさんで向き合わせ、机の中央に消しゴムを置かせる。 ②9つの教科名の中から1つ選んでキーワードを決め、みんなで確認させる。 ③「math(指導者), math(児童), 手を2回たたく」のパターンでいろいろな教科名を選びながら繰り返させる。 ④指導者がキー・ワードを言ったら、それを繰り返さず、消しゴムを取らせる。早く取った方が1ポイントもらえる。		・ゲームを楽しみながら聞くことに集中させ、指導者のあとについて教科名を何度も繰り返して言うことにより、前時に学習した教科名を思い出させるようにする。	教 英語特有のリズムやイントネーションを体得させる。
5 【ビンゴ・ゲーム】 ○ビンゴ・ゲームをする。 ○指導者のヒントを聞いて教科名を答え、その教科の絵カードを取る。	・ビンゴ・ゲームのやり方を説明する。 ①教科絵カードをビンゴ・シートの9つの枠の中に好きなように置く。 ②学級の時間割表を黒板に貼る。 ③指導者は、児童に見えないように裏返して教科絵カードを1枚手に持ち、「You study this on Monday.」とヒントを出す。 ④児童に、クラスの時間割表を見せながら、指導者の持っている絵カードの教科名を推測させ、Music./ We study music. など答えを言わせる。 ⑤指導者は答えを見せ、児童にその教科のカードをビンゴ・シートから取らせる。 ⑥縦、横、ななめにカードがなくなったら「Bingo」と言わせる。		・ビンゴ・シートを作成する際には、各自自由に置かせるのではなく、指導者が発音した教科の絵カードをシートに自由に置かせることにより、聞く活動を入れることができる。 ・序数は未習であるため、曜日をヒントに答えを推測させながらいろいろな教科名を言わせることで、発話を増やすようにする。	考 表 時間割を伝える際に必要な要素について考えさせ、相手に伝えるような話し方や声の大きさで会話をさせる。
6 【Let's Listen】 ○やり方を理解する ・聞き取った教科名をペアで交流したあと、全体で発表する。 ことばの活用POINT 「いつ」「何を」という要素を押さえ、情報を相手に正しく伝える	・英語ノート p.53 を開け、【Let's Listen】のやり方を説明する。 ①シートの曜日とすでに書かれている教科名を確認させる。 ②CDを聞かせて、聞き取った教科の絵カードをシートに置かせる。 ③ペアになり、できあがった時間割を確認させ、そのあと全体で答え合わせをさせる。		・文で言うのが難しい児童には、時間割の確認の表現は「Monday, math.」のように単語で必要な情報を言わせるようにする。 ・教科名と曜日の言い方をペアで協力して確認させる。	「外国語の音声や基本的な表現への慣れ親しみ」教科名を聞いて理解し、ゲームに積極的に参加する。(行動観察)
7 本時のまとめ ○ねらいについてどうであったか、振り返りをする。	・児童の英語を使おうとする態度面について良かったところを評価する。	・児童の英語を使おうとする態度や英語についての良かったところを評価する。	・次時の意欲につながるように、児童の良かった点を具体的に評価する。	

【中学校 第2学年】

本時の目標 — 物語を読んで、あらすじや大切な部分を読み取ることができる。

学習活動	指導上の留意事項	評価規準（評価方法）
<p>1 前時の振り返り ○前時の学習内容を確認する。</p> <p>2 本時の学習内容 ○本時の目標を理解する。</p> <p>3 概要や要点の理解 ○フラッシュカードを使って、内容理解に必要な語を確認する。 ○導入として、物語のタイトルからどんな内容かを推測させる。 ○2段階に分けて、質問に対する答えを考えながら教師のモデルリーディングを聞き、メモをとる。 ○本文を黙読し、質問に対する答えをワークシートに書く。</p>	<p>物語を読んで、あらすじや大切な部分を読み取る。</p> <p>(聞き取りのポイントの例) 第1段階 ・どんな場面か。 ・物語のテーマは何か。 第2段階 ・どんな登場人物がいるのか。 ・主人公は誰か</p> <p>(読み取りのポイントの例) ○登場人物の動きやいつ、どこで、誰がなど5W1Hに関する質問をする。 (例)・物語が展開している場所は ・物語が展開している時間は ・主人公が直面している出来事は ・出来事を解決するための主人公の試みは ・結果 など</p> <p>・then, later など、時間や順序を表す接続語に注目させる。 ・答えとなる部分に線を引かせるなどして、根拠をもたせる。 ・努力を必要とする生徒には、語句や文のきまりについて板書や口頭で説明する。</p>	<p>教</p> <p>手がかりとなる語句や表現をヒントとして与えたり、事前に質問をしたりする。</p> <p>「理解の能力」 書かれた内容について大切な部分を読み取ることができる。(ワークシート・生徒の応答)</p>
<p>4 意見交流・発表 ○ペアで交流する。 ○質問に対する答えを全体で発表する。</p>	<p>ことばの力活用POINT 質問に対する答えを、具体的な理由・根拠を明らかにして述べさせる。</p>	<p>考</p> <p>質問に答えることだけでなく、答えを導き出す過程を理解させ、主体的に読む姿勢を育てるよう、生徒とのやりとりを通して内容理解を深めさせる。</p>
<p>5 文章構成の理解 ○もう一度読み、物語の流れにそって英文の書かれたカードを並べ替える。</p>	<p>・答えを発表させる際に、内容理解を深めるため、事実を問う質問に加えて、推測を促す質問、日本語での質問、英語での質問などの工夫も行う。</p> <p>・カードを並べ替えて図表に整理することで流れをつかみながら読むことの大切さを押さえる。</p>	<p>考</p> <p>時間の流れに注意させ、物語全体の構成や展開をとらえさせる。</p>
<p>ことばの力活用POINT 物語全体の構成を考えて読む。</p>	<p>(例)</p> 	<p>表</p> <p>単元の終わりに、読んだ物語について内容をふまえて自分の感想などを英語で書かせる。</p>
<p>6 本時のまとめ ○本時に目標に照らし合わせ、自己評価カードを記入する。 ○次時の課題を確認する。</p>	<p>・物語などを読む時には、大まかな流れをつかみながら読み取ることが大切であることを押さえる。</p>	